



今回は、人権教育の視点からの授業改善を紹介をします。

## 人権教育の視点から深い学びを確かなものに

### 全国学力・学習状況調査 学校質問と学力のクロス集計

#### 3 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

##### 【学校質問と学力のクロス分析】

##### 【小学校】【中学校】

- 以下と回答している学校の方が、教科の平均正答率・IRTスコアが高い傾向が見られる。
  - ・調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う (25)
  - ・調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思う (26)

##### 【中学校】

- 以下と回答している学校の方が、教科の平均正答率・IRTスコアが高い傾向が見られる。
  - ・調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思う (27)
  - ・調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思う (28)

「令和7年度全国学力・学習状況調査報告書【質問調査】」  
文部科学省 国立教育政策研究所 令和7年7月

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思うと回答している学校の方が、教科の平均正答率などが高い傾向

人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ]

### 人権教育の視点からの学校づくりと学力向上

学校においては、「確かな学力」を育むためにも、学校全体として「一人一人を大切に、個に応じた目的意識のある学習指導に取り組む」等の教育目標の共通理解を図るとともに、学ぶことの楽しさを体験させ、望ましい人間関係等を培い、学習意欲の向上に努めることが求められている。

#### 【参考】効果のある学校 (effective school)

今日、「効果のある学校」に関する研究が国内外で進められている。これらの研究では、「教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力水準を押し上げている学校」において、学力の向上と人権感覚の育成とが併せて追求されている点に注目しており、人権感覚の育成は、児童生徒の自主性や社会性などの人格的な発達を促進するばかりでなく、学校の役割の大事な部分を占める学力形成においても成果を上げているとの指摘を行っている。

一人一人の個性やニーズに応じた基礎学力を獲得するためには、学校・学級の中で、現実に一人一人の存在や思いが大切にされるという状況が成立していなければならないからである。

### ◎課題解決に取り組み、児童生徒の可能性を引き出すためのポイント

なかまづくりに取り組み、学校全体として学習意欲の向上に努めること

◆めざすべき方向は、人権教育がめざしてきたことと重なります

### 人権教育における指導方法の基本原則

児童生徒が主体的に、他の児童生徒とも協力し合うような方法で学習に取り組めるよう工夫することが必要

「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」

### 「協力」、「参加」、「体験」を中核とする学習形態

感じ

考え

行動する

自分自身の心と頭脳と体を使って、主体的、実践的に学習に取り組むことが不可欠

「感じて(見て聞いて)、考えて、対話して、感じて」を繰り返しながら、気付いて行動する(成長する)学習に取り組んでいきましょう